

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名【新】岐阜県古代・中世寺院跡総合調査活用事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 文化財保護センター 電話番号：058-237-8550
管理調整係

E-mail：c21807@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,555千円 (前年度予算額：0千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 2,555 | 1,277 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,278 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

平成30年度から令和4年度に調査を実施し、最終年度に報告書を刊行した「岐阜県古代・中世寺院跡総合調査」の調査成果を県民に公表・還元するため、令和6年度『清流の国ぎふ文化祭2024』の期間内に、岐阜県博物館との共催で、「岐阜県古代・中世寺院跡総合調査報告会」(以下、「報告会」という。)と「飛騨美濃の古代中世寺院跡企画展」(以下、「企画展」という。)を実施する。なお、報告会では、「岐阜県古代・中世寺院跡総合調査報告書の総括の報告」・「寺院調査検討委員の講演」を、企画展では、県内における「寺院跡発掘調査成果の企画展示」・「近年の発掘調査事例報告」・県内の古代・中世寺院跡調査の近況報告を実施する。

(2) 事業内容

文化財保護センターが報告会、シリーズ講座を行い、県博物館は企画展の企画・運営、報告会の会場設営、企画展の印刷物の印刷・配布等を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫補助事業（総事業費の1/2補助）

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-------|---------------|
| 報償費 | 11 | 講演謝金 |
| 旅費 | 27 | 費用弁償・普通旅費 |
| 需用費 | 2,517 | 図録等印刷製本費、消耗品費 |
| 合計 | 2,555 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2023～2027年度）施策編」3（1）①「清流の国ぎふ」の文化芸術の創造・伝承・発信

社会教育施設において共通テーマによる企画展示を実施するなど施設間連携による魅力的な事業を展開し、各館の収蔵品等のアーカイブ化を進め、県民が文化芸術に触れる機会を拡大する。

・「清流の国ぎふ文化祭2024」基本構想」1（2）基本方針①「清流の国ぎふ」の文化力を結集・発信

(2) 国・他県の状況

他県でも文化財関連の悉皆調査を実施した後にシンポジウム等を実施している。（例：山梨県 山岳信仰遺跡分布調査 シンポジウム）

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

平成30年度から令和4年度まで文化財保護センター職員が岐阜県古代・中世寺院跡総合調査を実施したため、文化財保護センターが実施。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

企画展開催前にパンフレット及び図録を印刷製本し、来館者や報告会及びシリーズ講座参加者に配布する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R4年度 実績 | R5年度 目標 | R6年度 目標 | 終期目標 (R) | 達成率 |
|-----|--------------|------------|------------|------------|-------------|-----|
| ① | | | | | | |
| ② | | | | | | |

○指標を設定することができない場合の理由

単年度事業であり達成度の指標を設定することはできない。

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 令和2年度 | 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ % |
| 令和3年度 | 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ % |
| 令和4年度 | 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ % |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|--|
| <p>▪ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p> | |
| (評価) | |
| <p>▪ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p> | |
| (評価) | |
| <p>▪ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p> | |
| (評価) | |

(今後の課題)

| |
|---|
| <p>▪ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 文化財保護センターの調査研究事業の充実と、それを活かした報告会を始めとする普及活用事業のサイクル構築が必要と考える。</p> |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <p>▪ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 次年度以降は、調査研究事業の推進に尽力し、その成果を報告する機会を設けることで県民に還元する。</p> |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|---|--|
| <p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p> | <p>企画展示「飛騨美濃の古代中世寺院跡」、国史跡弥勒寺跡見学会【県博物館・関市文化財保護センター】</p> |
| <p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p> | <p>センター以外の県内寺院跡発掘調査成果も合わせて報告することができる。</p> |